

～関西の状況と課題と向かう先～

“ソフトウェア品質保証責任者の会”のご紹介

初版：2013年9月13日(金)

改版：2013年10月30日(水)

ソフトウェア品質保証責任者の会

栗原敬一

本資料について

- 本資料は、2013年9月13日に東洋大学にて開催された“ソフトウェア品質シンポジウム2013”【SQiP特別セッション E4】～SQiPからの情報発信～の発表資料を、その後の状況を踏まえて、第2期活動計画につき加筆修正したものです
- 次シート以降の本文の通り、“責任者の会”のこれまでの活動を振り返り、良い点と改善点を確認し、次のステップの道標を設定しました
- より実りある活動への“スターター”として、参加されている皆さまのお役に立ててください



はじめに

- 2009年11月に開始した“ソフトウェア品質保証部長の会”の盛況を受け、2011年10月から関西で活動を開始した“ソフトウェア品質保証責任者の会”の3年目に入ろうとしている。
- 2011年からの2年間は、「ソフトウェア品質保証を組織的観点で活性化するためには？」を自問し試行錯誤を繰り返した。
- 今後の方向性を探るため、結果として助走期間であった2年間の活動の振り返りと今後の活動を計画する合宿を開催した。
- 本セッションでは、2年間の活動内容を紹介するとともに、合宿の成果を報告する。



“ソフトウェア品質保証責任者の会”

活動紹介

対象：企業のソフトウェア品質保証責任者

内容：セミナーとディスカッションを月1回実施

役割を越えたディスカッションで品質意識を高める！

企業を越えたディスカッションで次の一手を考える！

費用：無料

場所：中央電気倶楽部（大阪市北区堂島）

会場の
トリビア “大大阪時代”の昭和5年竣工
平成21年2月 経産省 近代化遺産認定

昭和初期を舞台にしたドラマ
の撮影にも使われています

歴史ある場所で未来をディスカッション



なぜ責任者？

- **ここでのソフトウェア品質保証責任者**
 - CQO (Chief Quality Officer) 、役員クラス
 - 部長、課長クラス、現場のリーダー
 - 製品の品質責任・出荷責任を負う方

- **なぜ対象を広げたか？**
 - 関西のソフトウェア産業の規模感
 - 関東に比べて多くはない
 - より広い視点・視座での議論
 - 現場観点、管理観点、責任観点



参加メリット

■ 情報交換

- 企業の枠を越えた、当事者同士による、ソフトウェア品質保証活動に関する意見交換や情報交換

■ 人的ネットワーク構築

- 業界関係者や企業間の人的ネットワーク構築

■ ソフトウェア品質保証セミナー

- 著名な講師陣によるセミナー聴講
- 講師陣との深い議論



活動状況

立上げ

- ・ セミナーに関する議論
- ・ 情報交換
- ・ ネットワーク

強化

- ・ セミナーに関する議論
- ・ テーマに沿った議論
- ・ 聴講から議論へシフト

更なる
進化へ

活動
開始

第0次
品質保証責任者の会

強化

第1次
品質保証責任者の会

合宿
実施

第2次
品質保証
責任者の会

発足

委員
強化

準備委員会

いまここ!!

上期

下期

上期

下期

上期

下期

2011年度

2012年度

2013年度

2013/10/30

SQIP Symposium 2013

活動実績 第0期 2011/Oct~2012/Sep

開催日	講師（敬称略）／テーマ
2011/10/28	野中 誠（東洋大学） SQiPソフトウェア品質保証責任者の会への期待
2011/11/30	飯塚悦功（東京大学） ソフトウェアへの品質マネジメントアプローチ
2012/01/20	金子龍三（プロセスネットワーク） 品質保証責任者の会 - 原因分析 -
2012/02/29	保田勝通（つくば国際大学） 品質保証全体像 - 顧客満足と開発者満足を実現するソフトウェア品質保証 -
2012/03/21	西 康晴（電気通信大学） ソフトウェア品質保証にまつわる誤解について
2012/05/30	湯本 剛（日本ヒューレットパッカー） テストを改善するための4つの施策
2012/06/29	誉田直美（日本電気） 「品質会計」構築の歴史にみるソフトウェア品質保証のありかた
2012/07/20	細川亘啓（日本IBM） これからのソフトウェア品質エンジニアリング
2012/09/28	鈴木三紀夫（MRTコンサルティング） Wモデル

活動実績 第1期 2012/Oct~2013/Jun

開催日	講師（敬称略）／テーマ
2012/10/26	野中 誠（東洋大学） データ指向によるソフトウェア品質マネジメント ーメトリクス分析による『事実に基づく管理』のための実践ー
2012/12/07	（ディスカッションのみ） 会の趣旨説明、第1期の進め方説明、担当されているポジションの紹介
2013/01/25	石原一宏（バルテス） 上流工程におけるソフトウェア品質向上の考え方と戦略
2013/02/22	川原章義（ソフトウェア品質保証部長の会） 討議続き＋「ソフトウェア品質保証部長の会」からの発信
2013/03/22	秋山浩一（富士ゼロックス） テストプロセス改善 ー単体テスト～受入運用テストにおける品質保証のありかたー
2013/05/24	（ディスカッションのみ）
2013/06/21	五影 勲（元サントリー） 人材（人財、人才）の育成
2013/07/27-28	（振返り合宿） これまでの振返りと今後の活動について

振り返り合宿

目的：今後の活動指針の立案

内容：

- ・ 2年間の活動を振り返り現状を把握する
- ・ 現状を踏まえたうえで第2期の活動計画を立案する

工夫：

変形KPT法で意見を述べやすく

- Keep (期待通りだったこと)
- Problem (残念だったこと)
- Try (今後やりたいこと)

日時：2013年7月27日(土)～28日(日)

場所：紫明荘 (京都)

参加者数：13名 (日帰り含む)



期待通りだったこと (Keep)

- **企業の枠を越えた品質保証活動に関する意見交換や情報交換ができる**
- **企業間のネットワーク作りができる**
 - 組込み系(専門外)のテストの話しが聴けた
 - 他社と自社の差がわかった
 - 他の会社がどの様にやっているのかがわかる
 - 他社事例が聴けた
 - 異業種交流会的に聞いた(Give&Take)→+自分のやっていることが確認できた

- **著名な講師陣による講演を聴講し講師陣と深い議論ができる**
 - テストの全体像がつかめた
 - 一段上の立場での考え方を目的に参加したが期待通り
 - 色々な話が聴けて、品質意識が高まった
 - 先生の話(関西で)聴くことができた

● **その他の効果**

- 品質管理とマーケティングの関係が新鮮だった
- 副次効果があった

残念だったこと (Problem)

技術的な具体例が不足

- 技術的なところが少ない
- 意見を出すだけで終わっている→現場に持ち帰る具体的なものがない
- 会社への報告も事例のみとなっていた
- 壁の壊し方（上司/同僚の説得事例）
- 測る方法（データの取り方、差分の把握）測り方の実装
- 品質保証の議論を活発にしたかった

時間が不足

- 聴くだけで消化不良
- 時間が短いので概略のみしか見えていない
- 2次会に出られない（時間的な制約で）

成果に対する不満

- 講演を聴いているだけだった→発信したい
- 経営層に対して広めたかった
- 1から勉強したい→品質保証って何？から
- 参加者の層を広げられなかった

今後やりたいこと1 (Try)

品質保証（部門）とは何か？の探求（その1）

- 土台作りの議論
 - 品質保証部門（関西の）役割は？品質保証とは？
- 活動を広げる
 - 品質活動する/している人々と協働したい。
 - 人を増やしたい
 - 広報
 - 関西の実態調査
 - 関西の現状はどうなっているのか？
 - ターゲットはどこか？（部門、関西のドメイン）
 - アンケートの呼びかけ（入口を広げる）

今後やりたいこと2 (Try)

品質保証（部門）とは何か？の探求（その2）

- 技術的側面の探索
 - 品質保証の勉強を1から始める
 - 勉強したい
 - 勉強するメリットは？ ※これが大事なものは明らか
 - 知識を増す
 - 開発との関係
 - そもそも論
- 経営的側面の探索←品質活動との関係
 - 売れる/儲かる
 - 信頼
 - 我慢

今後やりたいこと3 (Try)

「責任者の会」のあり方の検討

- 立場の違いを乗り越える
 - “ドメインの違い”、“第一印象”
 - ドメインの違いを吸収/立場の違い
 - ハードル感の拭去
 - 第一印象の改善



活動テーマ

- **品質保証(部門)の土台作りの議論**

- 品質保証部門（関西の）役割は？品質保証とは？を考える

- **技術的側面**

- 品質保証の勉強を1から始める

- **経営的側面**

- 品質活動との関係を考える

- **活動を広げる**

- 広がる可能性があるのか。関西の現状を知る

ドメインの違いや立場の違いを考える必要がある

第2期活動スケジュール（元）

2013年9月

- ソフトウェア品質保証責任者の会のポジション確認
テーマ案からテーマ選定、活動内容と活動計画策定

2013年10月

- チーム分け
テーマに沿ったディスカッション

2013年11月

- チーム別にテーマ整理、活動内容の概要・骨子作成
テーマに沿った講師選定、キックオフミーティング

2013年12月～2014年6月

- 活動期間
講師によるセミナー、資料まとめ

2014年9月

- SQiPシンポジウムでの報告

第2期活動スケジュール（改）

2013年10月（本日）
仮キックオフ

- ソフトウェア品質保証責任者の会のポジション確認
テーマ紹介、活動内容と活動方向性

2013年11月（16日）
キックオフ

- テーマ整理+テーマ選定/テーマ毎のチーム分け
活動の概要・計画作成+テーマに沿った講師選定

2013年12月（上旬）
計画表明

- 活動計画表明（プレゼンテーション）

2014年1月～2014年8月
活動

- 活動期間
講師によるセミナー、資料まとめ

2014年9月（中旬）
成果発表

- SQiPシンポジウムでの発表

参加者募集のおしらせ

ソフトウェア品質保証責任者の会

ソフトウェア品質保証について

一緒に学び・議論し・先導しませんか？

- 「ソフトウェア品質保証責任者の会」は常にみなさまのご参加をお待ちしております
 - 参加資格：ソフトウェア品質に責任を持つ方
 - メリット：
 - ・ 品質保証活動に関する部門長レベルの技術交流や情報交換
 - ・ 社外の人的ネットワーク構築
 - ・ 豪華講師陣による無料講演
- 詳細は日科技連Webをご覧ください <http://www.juse.or.jp/software/363/>
- お問い合わせは右記メールアドレスまでご連絡ください juseosaka@juse.or.jp

ご清聴ありがとうございました
SQiP Symposium 2014でお会いしましょう